

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		婦人団体協議会助成				所管	教育委員会 生涯学習課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 昭和44年度 [終了予定] - 年度			
		[小 柱]										
		[施 策]										
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区社会教育関係団体事業補助金交付要綱								
	事業対象	台東区婦人団体協議会										
	事業目的	社会教育団体が行う事業に対し、自主性を尊重しつつ助成を行い、本区社会教育の一層の発展を図る。										
	事業内容	<p>区内の社会教育団体(連合体規模のもの)に対し、補助金を交付することにより、各団体が自主的に実施している事業の促進を図る。</p> <p>団体名:台東区婦人団体協議会 事業名:家庭文化婦人の集い 補助金額:25,000円</p>										
委託の有無		委託内容										
補助金の有無												
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	開催日数	(日)	1	1	1	1					
		成果指標	家庭文化婦人の集い来場者数	(人)	60	59	52	67				
	決算額 (単位:千円)					45	45	25				
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				90	83	85				
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0	0	0				
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				45	45	25				
		総経費				135	128	110				
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0				
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源(区負担額)				135	128	110						
前年度から改善した事項	補助金のより適正な執行を図るため、25年4月より補助金交付要綱を見直した。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	生涯学習と文化振興及び学習振興の点で、団体の自主性を前提に一定の支援は必要であり、各種の社会教育関係団体の活動が、本区の社会教育振興上、重要な地位を占めている。									
	効率性	3	各団体に対する事業助成であり、コストや効率性に大きな変化はない。今後、団体の自主事業のあり方など、成果をさらに検証し、団体自身による見直しも確認していく。									
	手段の適切性	3	各団体が主体となって、区民が参加・鑑賞できる一定規模の事業を実施することに対し支援することで、区民の生涯学習と文化活動の振興向上に貢献している。									
	目的達成度	3	事業が円滑に行われている。									
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性						
団体への助成を継続することで、団体主催の事業の継続・充実が図られている。社会教育団体の活動が区民の生涯学習につながることから助成事業は継続していく。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了					